

第36回	チェックのタイミングと手法		平成22年 1月 19日 (火)	
	進行役	山田 治(株竹中工務店)	特別講師	

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	屋根・天井・床等の数量は比較的チェックしやすいと思いますが、内外壁と間仕切に関して良いチェック手法があれば教えてください(歩掛?)。	<ul style="list-style-type: none"> ・データの蓄積が第一です。別紙の様な「仕上数量チェックシート」が便利です。 ・データは事務所・住宅・工場等に区別して母数を増やしていく。但し特殊な建物まで含めない。 ・又チェック手法のまとめに記載ある√式も目安ですが、一部屋が100m2くらいには有効です。
2	役物塗装の数量は係数倍して通常単価で表示するのが基本、と考えてよろしいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・建具は係数でm2換算です。手摺・巾木・額縁等は糸幅単価×m数です。 ・係数倍するのが特殊です
3	鉄筋、コンクリート、型枠の数量は、最終歩掛が算出されないとなかなか数量がチェックできないし、おおまかにしか確認できません。外注積算時に、積算し忘れそうな部位を確認して積算していますが、躯体数量の良いチェック手法を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙の様に弊社では「A表・B表」を作成してチェックします。 ・協会発行の「建築積算のチェック手法」のP63からの記載に1スパンを実際に概略積算しているのと同じ手法です。 ・躯体は細かくすると積算し直しになります。ご質問の様に間違いやすい部位・過去の事例に留意して積算時点からチェックするのが良いです。 (3~7%程度の違いは大まかなチェックでは発見できません。突出しているものを見つけてください)
4	改修工事のチェックはどのようにしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・新築に準ずるのですが、その際に基準となる施工面積を明確にしておきます。 (天井のみの改修・床のみの張替等)
5	チェック表はどのような書式の物を作成していますか。	1・3に同じです。
6	担当者によりチェックのポイントに違いがあると思いますが、講師が必ず行うチェック項目を教えてください。	鉄骨の歩掛の妥当性/メッシュとデッキm2/杭本数総数/仮設の坪単価/建具CWのm2/畳枚数/上物と下地m2/単価/外壁率/外構舗装面積/高額な金額の項目をチェック/検討書で科目別の比率/部位別の比率等。